

# 令和5年改正法・ステマ規制対応 景品表示法の実務と留意点

NOMA ONLINE BUSINESS SEMINAR

配信期間

※合計受講時間  
約3.5時間（ワーク時間含）

申込期間

2024年2/1(木)～2/29(木)

2024年2/25(日)まで

## いつでもどこでも繰り返し受講可能！効率よく学べる！

景品表示法は消費者向けビジネスを展開されている全ての業種に影響があり、一度違反した場合の社名公表等によるレピュテーションリスクは相当なダメージが想定されます。また、景表法改正法はいずれも法執行の強化に繋がっております。特に、確約手続の導入、直罰規定、適格消費者団体による開示要請などは実務に大きく影響を与えています。

本講座は、いわゆるステマ規制の内容も盛り込み、事例を多く扱うことで、ご自身の業務に照らし合わせやすいように進行いたします。

- ✓ 資料はデータ提供
- ✓ 繰り返し視聴可能
- ✓ 倍速機能付き
- ✓ 講師に質問可能

対象

総務・経営企画部門の方  
内部監査部門の方  
営業・マーケティング部門の方  
企画・宣伝部門の方

受講の流れ



※本会申込ページ



お申込み

- ①本会HPよりご希望の講座を検索
- ②または二次元バーコードを読み取ってお申込み



URLが届く

お申込み後、3営業日程度で  
視聴用URLが記載されたメールが届きます



ご受講

配信期間内にメール記載のURLから  
ログインし、受講します  
※ご質問は、配信期間中にサイト内で  
受け付けます

受講画面イメージ



- ・スマートフォンでも受講可能です
- ・拡大したい画面を選択して視聴できます  
(講師/資料/板書/全体のカメラ等)

- ・株式会社ファンオが運営するDeliveruサイトに配信いたします。
- ・参加券と請求書はご連絡担当者様宛に郵送します。
- ・領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。
- ・URL送付後のキャンセル料は100%を申し受けます。
- ・視聴案内メールは、no-reply@deliveru.jp から送信いたします。

- ・カメラ・マイクは不要です。
- ・テキストは視聴ページからダウンロード可能です。
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします。

# プログラム「景品表示法の実務と留意点」

## チャプター1：景品表示法とは

- (1) はじめに
- (2) 景品表示法の全体像
- (3) 景品表示法違反が企業に与える影響
  - ・社名公表によるレピュテーションリスク
  - ・措置命令
  - ・課徴金
  - ・差止め
  - ・罰金

## チャプター2：不当な表示に関する規制

- (1) 不当表示の主体
- (2) 優良誤認表示
- (3) 有利誤認表示
- (4) その他誤認のおそれのある表示

## チャプター3：過大な景品類提供に関する規制

- (1) 景品類とは
- (2) 懸賞制限告示
- (3) 総付制限告示
- (4) 業種別告示

## チャプター4：昨今のトレンド

- (1) ステルスマーケティング規制とアフィリエイト広告
- (2) おとり広告
- (3) 打消し表示

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただきます。

## 講師プロフィール

阿部・井窪・片山法律事務所  
弁護士

うえさか のぞみ  
上坂 望 氏

早稲田大学法学部卒業。京都大学法科大学院卒業、司法研修所（第70期）。

2017年第一東京弁護士会登録。阿部・井窪・片山法律事務所入所。

知的財産、倒産・事業再生、紛争処理を中心として、上場企業から中小規模の企業、国内外の企業法務全般に従事している。

知的財産の分野においては、特許権、著作権、商標権及び不正競争行為に関する訴訟業務やアドバイスを行っており、倒産・事業再生の分野においては、会社更生、破産手続における管財業務を行っている。

その他、多種多様な業種・規模の民事訴訟案件に携わっている。

国内法分野においてはM&A、株主総会等の会社法案件、労使間交渉、労働審判等の労働法案件に従事しているほか、涉外分野においても、ファイナンス、コンプライアンス体制構築の案件に携わる。

また、様々な企業・お客様からの契約、交渉等に関する日々のご相談に常に幅広く対応している。

